

総 務 常 任 委 員 会 記 録

令和5年11月16日（木）午後1時30分～午後1時40分（9階903会議室）

○出席委員（8名）

委 員 長	鈴木 正実
副委員長	山田 裕
委 員	浦野洋太郎
委 員	丹治 誠
委 員	菅原美智子
委 員	二階堂武文
委 員	高木 克尚
委 員	渡辺 敏彦

○欠席委員（なし）

○案 件

- 1 当局説明について
- 2 行政視察について
- 3 その他

午後1時30分 開 議

（鈴木正実委員長） それでは、ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

初めに、当局説明についてを議題といたします。

資料1をご覧願います。前回ご協議いただきました記載の内容について、委員の皆様よりご了承いただいたところがございます。この間当局とも調整いたしましたので、この内容で説明を受けることとしたいと思います。また、日程に関しましては、記載のとおり12月21日木曜日午後1時15分から実施したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（鈴木正実委員長） ご異議なしということで、それではこの内容及び日程で当局説明を実施いたします。

なお、当局説明当日の説明及び質疑応答の予定時間につきましては、現時点におきまして当局説明が約30分、質疑応答約40分を予定しております。

また、当局説明の後、委員の皆様一人一人から当局説明に対する意見開陳をいただきますので、よ

ろしくお願いを申し上げます。

なお、質疑応答や意見開陳の状況によっては2時間を超える場合もあるかと思しますので、よろしくお願いをいたします。

続きまして、行政視察についてを議題といたします。

前回の委員会におきまして、行政視察の日程に関して1月末頃ということでお話を申し上げておりました。1月29日から30日の2日間の日程でご予定をいただきたいと思います。この辺はよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(鈴木正実委員長) 視察先の選定につきましては、正副委員長に一任をいただきましたところではありますが、正副委員長手元で行政視察の日程及び視察先について調整させていただきましたので、ご説明申し上げます。

今ほど申し上げましたとおり、日程は1月29日から30日の2日間、1泊2日の行程とさせていただきます。

次に、視察先についてご説明申し上げます。資料2をご覧くださいと思います。1日目の1月29日月曜日は神奈川県相模原市、2日目の1月30日火曜日は神奈川県横須賀市を予定しております。

なお、各自治体の主な取組などにつきまして、書記より説明させます。

(書記) それでは、資料2、行政視察先一覧表案についてご説明させていただきたいと思います。

今ほど委員長からご説明のあったとおり、まず上の段でございます。1月29日月曜日、予定として13時15分からというところで、神奈川県相模原市を予定しております。人口、面積、行政区分につきましては記載のとおりでございます。

次に、キーワードの欄をご覧くださいと思います。2つございます。①、チャットGPTの業務活用の実証実験の実施、②、国産生成AIの共同検証を開始というところでございます。

次に、視察地の主な取組の欄でございます。①でございます。チャットGPTの業務における活用を検証するため、令和5年6月から実証実験を開始したところでございます。その中で、どのような業務で活用が見込めるか、また業務利用する場合の運用ルールなどについて検討を行うため、試験的に導入しまして実証をしていたというところでございます。

続いて、②でございます。2行目からでございますけれども、令和5年10月19日にNECと協定を締結いたしまして、国産生成AIを用いた共同検証を開始したというところでございます。このNECの国産生成AIは、日本語に特化した仕組みや専門用語への対応等による回答精度の向上に加えまして、個人情報や機密情報などの情報漏えい対策が可能となるという見込みというところでございます。主として自治体行政分野に特化した生成AIの実現可能性の検証や、自治体に適した安全で利便性の高い生成AIの利用環境の構築に向けた検討を行っているというところでございます。

続いて、右の欄、調査項目案でございます。このような取組を受けまして、相模原市における生成

A Iに係る取組ということで、記載の①から③の内容について聴取を行っていくのはいかがかというところでございます。

続いて、下の段、1月30日火曜日10時からの神奈川県横須賀市でございます。人口、面積、行政区分につきましては、記載のとおりでございます。

キーワードの欄でございますけれども、こちらも2つございます。①、チャットG P Tの全庁的な活用実証の実施、②、生成A I活用のためのポータルサイト開設というところでございます。

次に、視察地の主な取組の欄でございますけれども、まずは①でございます。2行目後段からでございますけれども、横須賀市では全ての職員がふだん業務で使用しているチャットツールというのがありまして、その中で文章作成、文章の要約、誤字脱字のチェック、またアイデア創出などに活用できるよう、チャットG P Tの全職員を対象とした実証を実施したところでございます。また、活用実証の結果を踏まえまして、チャットG P Tを本格実装するとともに、新たにA I戦略アドバイザーを迎えまして、生成A Iの新たな活用に向けた取組を実施しているというところでございます。

②でございます。民間企業の協力の下、横須賀市が運営するポータルサイトには横須賀市のほかに10の生成A I先進自治体に参加いたしまして、全国に向けて生成A I導入に関する情報であるとか、またその活用事例を広く発信して、共有する取組を実施しているというところでございます。

このような先進的な取組をやっているというところでございまして、それを受けまして右の欄、調査項目案でございますけれども、横須賀市における生成A I（チャットG P T）に係る取組についてというところでございます。記載の①から④の内容について聴取していくのはいかがかというところの内容でございます。

概要でございますが、説明は以上でございます。

（鈴木正実委員長） この2つの自治体からは、日程及びそれぞれの取組に係る調査項目の視察の受入れについてご内諾をいただいております。この2つの自治体におけるそれぞれの取組について視察を行う方向で進めてまいりたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（鈴木正実委員長） それでは、そのように進めさせていただきます。

なお、各自治体におけるそれぞれの調査項目に係る詳細な内容につきましては、視察先との調整が必要なことから、正副委員長手元において調整をさせていただき、調整が整い次第、また行程等につきましても調整が整い次第お示しいたしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

また、今回の視察にあたりまして、当局より職員の同行の申入れがございました。同行者は、政策調整部次長兼デジタル改革室長と情報企画課長の2人を予定しておりまして、正副委員長といたしましては、先進地の取組について当局側も共有していただくという意味合いにおいて非常に有効なことかなと、本市における今後の施策展開に資するものになるというふうに考えておりまして、当局職員の同行について了承したいと思っておりますが、委員の皆様のご意見をお聞きしたいと思います。い

かがででしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(鈴木正実委員長) それでは、そのように当局と打合せをさせていただきたいと思います。

正副委員長からは以上であります。最後にその他といたしまして、皆様から何かございましたら
よろしくお願ひしたいと思ひます。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(鈴木正実委員長) ないようですので、以上で総務常任委員会を終了いたします。

午後1時40分 散 会

総務常任委員長

鈴 木 正 実